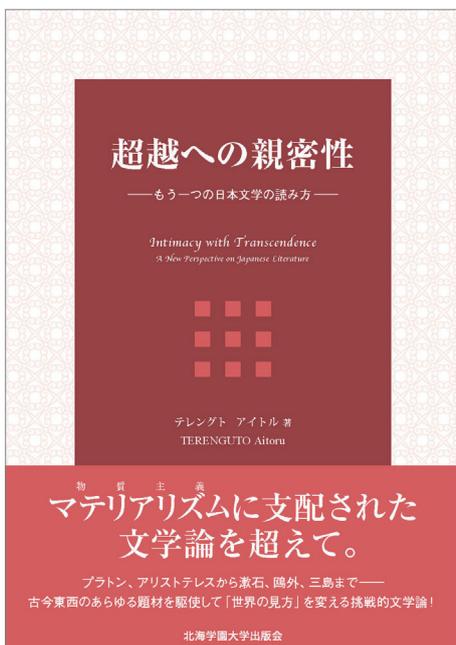




北海学園大学出版会



超越への親密性

—もう一つの日本文学の読み方—

Intimacy with Transcendence

A New Perspective on Japanese Literature

著者 テレングト アイトル TERENGUTO Aitoru

判型 A5判、ハードカバー

ページ数 528頁

発行日 2023年3月31日

ISBN 978-4-910236-08-7 C3090

定価 7150円(本体6500円+税)

【内容紹介】

「文学とは何か?」。著者の発した根源的な問いかけは、プラトン、ソクラテスを皮切りに夏目漱石、森鴎外、三島由紀夫に至るまで古今東西の「水脈」を縦横に辿り、文学における最大の秘密へと迫っていく。

著者はこう綴る〈文豪(*漱石、鴎外、三島)はいずれも作品、テキストを通じてわれわれの目に映る現実の皮相な世界を指し示しながら別の世界を表象し、いずれも意識の誕生や言葉の形成の瞬間を見つめながらそこから広がる認識の世界を提示し、しかもその世界をどのように表現し対処すべきかを示唆してくれているのである。確かに、それらの作品・テキストは、つねにわれわれ読者の読みに向かって開かれているが、この論集はそれに勇気づけられ、一貫してマテリアリズムへのアンチ・テーゼを提示したつもりである〉

文学が生まれてくる「創作源泉」は、インスピレーションか、それともリアリティか——^{物質主義}マテリアリズムに支配された昨今の文学研究に一石を投じるダイナミックな比較文学論!

【著者紹介】

テレングト アイトル

1983年中国内モンゴル大学卒業。1987年渡日。1998年東京大学大学院総合文化研究科超域文化科学専攻(学術博士取得)。1999年北海学園大学人文学部准教授、2003年より同大学教授。2002年日本国籍取得。ケンブリッジ大学(クレア・ホール)終身会員。専門は比較文学比較文化。

著書に『三島文学の原型——始原・根茎隠喩・構造』(日本図書センター)、『詩的狂気の想像力と海の系譜——西洋から東洋へ、その伝播、受容と変容』(現代出版)、同書のKindle「改訂版」など、そのほか論文(日・中・英・蒙文を含む)多数。